

坂祝町ふるさと納税返礼品を紹介します！

若林煎餅 株式会社 様

第4弾

坂祝町黒岩にある若林煎餅株式会社は、戦後間もない昭和28年の創業の老舗和菓子製造会社です。戦後食べる物がない時代におせんべいでも提供しようと初代が名古屋市内で始められました。

現在の若林社長は、地方自治体職員から結婚を機に転身し、当時の若林製菓（当時）の4代目社長に31歳で就任しました。ところが社長に就任した2年後、会社を支えていた先代（義父）が急逝し、不安な毎日を過ごされていました。すべてを託された若林社長は、当時の流行のお菓子を作ったり、通信販売に手を広げたり、大手企業の真似をしたりしましたがどれもうまくいきませんでした。

45歳になった社長は、会社がつぶれるかもしれないとの危機感の中、「岐阜県モノづくり道場」と運命的な出会いをし、そこで初めて「経営」「シナリオプランニング」を体得することになります。手あたり次第に手を出していた過去の反省に立ち、自社のモノづくりの強みを伸ばす方向に舵を切り、少子高齢化で需要が減るであろう国内から海外へ販路拡大するべく岐阜県産業経済振興センターやJETRO（日本貿易振興機構）の支援を得て海外の展示会に積極的な出展を進めました。

これがきっかけで会社は、絶望的な状況から再び勢いを盛り返すことになります。主にASEAN諸国や中東を中心に、日本の



高品質で丁寧な製品作りを強みに売り上げを拡大し、インドネシア、香港、シンガポール、ドバイ万博など大きな業績を上げることができました。

その過程で培った「日本一かわいい黒子せんべい屋」は「OEMビジネス」のノウハウを日本に逆輸入し、後のコロナ禍においても従業員の雇用を堅持しながら、現在では、東京駅や京都駅などのブランド土産を委託製造し、今期決算は過去最高益が見込まれるようです。

若林社長の永年のご苦勞に思いをはせ、今後のご発展を祈念せずにはいられない熱いインタビューでした。

